

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 令和元年度特別展の開催報告

### 武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」

沖縄県平和祈念資料館は、悲惨な沖縄戦の実相とそこから得た歴史的教訓を正しく次代へ継承し、恒久平和に寄与するという設立理念のもと、開館以来、様々な視点で戦争と平和について考える展示会を開催してきました。

今年度は「鉄の造形作家」として活動した武田美通氏の作品の特別展を開催しました。武田氏の作品は、サイパンや沖縄、満州で自死した母子たち、被ばくした人々たち、鉄の砲弾ではなく飢餓状態で死んだ日本兵たち、今は物言えぬ人々に代わってその切なる思いを渾身の力で表現しています。それらは想像を絶する極限状態のなかで戦争の不条理と残酷さを身をもって体験した沖縄戦の実相と幾重にも重なります。

今回の特別展は令和元年11月1日～12月15日の1ヶ月半の期間に16,035名の方が観覧し、その13%にあたる2,132件のアンケートを回収することができました。アンケートによると、観覧者の6割が10代を占め、若い世代の人が多かったこと、また、英訳説明文を付置したので、特に海外の観覧者も多かったことが分かりました。「常設展示室を見た後に戦争を実感した」「心を揺さぶられた」「平和の大切さを感じることができた」という多くの感想も頂き、戦争の愚かさと平和の尊さを改めて考え、当館での常設展示と合わせて、平和への思いを深めてもらう機会となりました。



海外からの観覧者に説明する学芸員



熱心に観る県外の高校生

# 令和元年度「平和への思い(ウムイ)発信・交流・継承事業」

## 1.実施目的

沖縄県平和祈念資料館では、近隣アジア諸国の学生を沖縄に招いて、沖縄県内の大学に在籍する大学生とともに交流を深めつつ互いの歴史を学び、そこから得られる教訓と平和への思いを次世代に継承し、平和発信者となる人材の育成と近隣アジア諸国との人的ネットワークの基礎を構築することを目的として、令和元年度「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業を実施しました。

## 2.実施主体

- ・主催：沖縄県(主管 沖縄県平和祈念資料館)
- ・受託事業者：特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター(OPAC)

## 3.参加国・地域及び参加者数

カンボジア・韓国・台湾・ベトナム・日本(沖縄県)に在住する大学生・大学院生各5名 計25名

## 4.沖縄合同宿泊研修実施期間・場所

期間：令和元年10月11日(金)～10月20日(日)9泊10日

場所：沖縄県平和祈念資料館大会議室 他(ひめゆり平和祈念資料館等の見学あり)

※合同宿泊研修前に、各参加国・地域にて事前学習の実施あり。

## 5.事業内容

事業では、海外からの参加者に沖縄県内在住の大学生5名を加え、沖縄県において2019年10月に9泊10日の合同宿泊研修を実施しました。研修を通して、アジア諸国と沖縄の学生が互いの歴史を学習することで戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学び、戦争等の体験の継承と平和構築に取り組むために若い世代ができることを考えてもらいました。さらに、参加学生は、交流を通して培った絆により平和構築のためのネットワークを形成し、研修終了後も沖縄県を含むアジア地域において、国際的な視野を持ちつつ平和教育活動に取り組んでいくことを確認しました。研修最終日には、研修成果報告としてシンポジウムを開催し、共同宣言を発表しました。



開講式



ひめゆり平和祈念資料館見学



平和の礎見学



研修の様子



シンポジウムでの発表



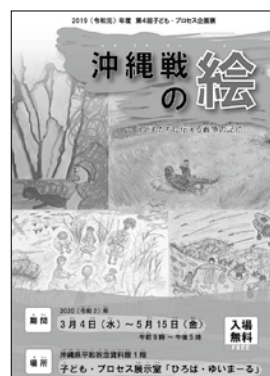
シンポジウム共同宣言発表の様子

## 令和元年度 第4回子ども・プロセス企画展 「沖縄戦の絵 —子どもたちに伝える戦争の記憶—」

沖縄戦の体験を子どもたちに伝えるための企画展として、「沖縄戦の絵 —子どもたちに伝える戦争の記憶—」を開催します。展示している資料は、地獄のような沖縄戦を体験した人びとが、その恐怖の記憶を思い起こし、絵に描いて記録したものです。悲惨な戦争を生きのびた人びとが描いた様々な絵をご覧ください。戦争の実相と平和の尊さについて考えていただきたいと思います。

〔期間〕 令和2年3月4日（水）～5月15日（金）

〔場所〕 子ども・プロセス展示室



## 令和元年度ギャラリー展

### ○第2回「小さな瞳による紡ぎ、繋ぐ平和への思い」

戦後をたくましく生きた当時の子ども達にスポットをあて、戦争体験者が記憶を呼び覚まし、思いを込めて描いた「沖縄戦の絵」とともに、終戦目前、終戦後に、どのような体験をしたのか、またどんな表情をみせているのか米軍記録写真を展示し、子ども達の見方で当時の様子を感じとってもらおう場としました。

〔期間〕 令和元年10月1日（火）～1月15日（水）

〔場所〕 2階ギャラリー

### ○第3回「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」

2020年度に児童・生徒の平和メッセージが第30回を迎えるということで、今年度1月より各部ごとの過去の最優秀賞作品5年分を展示していきます。（特別支援の部はそれぞれに振り分けます）今回は、小学校高学年・特別支援の部の作品を展示します。

〔期間〕 令和2年1月16日（木）～5月13日（水）

〔場所〕 2階ギャラリー



# インターンシップ受け入れ報告

生徒・学生の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。

令和元年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から22名の実習生を受け入れました。体験した生徒・学生の皆さんが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。

## [学校名・人数・期間]

- ・沖縄県立沖縄水産高等学校 (4名) 7月 9日(火)～ 7月11日(木)
- ・琉球大学 (1名) 9月24日(火)～ 9月27日(金)
- ・沖縄県立南部商業高等学校 (4名) 10月15日(火)～10月18日(金)
- ・糸満市立糸満中学校 (3名) 10月29日(火)～10月31日(木)
- ・沖縄県立糸満高等学校 (2名) 11月13日(水)～11月15日(金)
- ・沖縄県立小禄高等学校 (4名) 11月19日(火)～11月21日(木)
- ・沖縄県立那覇西高等学校 (2名) 12月10日(火)～12月12日(木)
- ・沖縄県立向陽高等学校 (2名) 12月11日(水)～12月13日(金)

## [実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・平和の礎周辺の清掃
- ・アンケートの集計作業
- ・展示資料の設置
- ・平和学習(平和講話・展示室見学・平和祈念公園フィールドワーク)



資料の整理作業



平和の礎の清掃

# 沖縄少年院連携事業

昨年度より、沖縄少年院の院生を対象にした平和学習の受け入れを始めました。

今回は計5回実施し、21人の院生が平和講話や常設展示室観覧、平和の礎や壕などの摩文仁戦跡フィールドワークを通して、沖縄戦を学びました。

学習を終えた子ども達は、「沖縄という激戦地に生まれ育ち、改めて戦争の恐ろしさをどう伝えていくか考えさせられました。」「鉄の暴風の中、死に物狂いで逃げ、その後も必死に生きてきた先祖たちのおかげで今があることに感謝したいです。」「今の自分は色々な人に迷惑をかけ、悲しませてしまいました。感謝の気持ちと自分にできるのは小さいことだけど平和な世界を作る力になろうと思いました。」と感想を述べ、沖縄戦の実相と自分自身を重ね合わせ、これまでの自分の過ごし方や今後の生き方について考える場となりました。

# 令和元年度 友の会講話・ガイド活動実績件数 (平成31年4月～令和2年2月)

## (1) 平和講話・ガイド実績

団 体	実施回数 (対前年比)	実施人数 (対前年比)	派遣講師 (対前年比)
高等学校	68件(+2)	12,090人(-713)	68人(+2)
中学校	47件(-8)	6,571人(-1,125)	47人(-8)
小学校	18件(-4)	9,918人(-325)	18人(-4)
その他	57件(+2)	1,830人(+719)	57人(+2)
合 計	190件(-8)	30,409人(-1,444)	190人(-8)

県内：小学校17校、中学校8校、高等学校5校  
 県外：小学校1校、中学校38校、高等学校61校  
 海外：中学校1校、高等学校2校



(2) 常設展示室解説員 配置実績66人

(3) 学習会：平和学習ウォーク 4月13日(土)

「安里から首里への道」 講師：仲村真氏

証言者：翁長安子氏(89歳)・吉嶺全一氏(87歳)

(4) 令和元年度 友の会総会 5月18日(土)

(5) 平和祈念財団 平和祈念公園愛護活動への協力 10月4日(金)

平和学習ウォークの様子

(6) 「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業 10月12日(土)

講師：仲村真氏

(7) 「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業成果報告会 10月19日(土)

(8) 学習会：平和講話会

「引揚げ船撃沈、南洋トラック島での悲劇」 2月16日(日)

講師：上江洲清氏(80歳)

## 寄贈品紹介

### ○ 実物資料

8個人から8件で32点の資料寄贈がありました。

※平成31年2月5日現在

No	寄 贈 日	資 料 名	数	寄 贈 者
1	H31.4.2	皿	1	Shesil Mason
2	H31.4.6	砲弾の破片・壺	2	仲里 学
3	H31.4.7	万年筆	1	鈴木 篤
4	R1.10.15	軍服	1	久保田 健
5	R2.1.14	印鑑・飯盒 他	23	浦崎敏雄
6	R2.1.14	服	1	花城久美子
7	R2.1.15	水筒・灰皿	2	又吉隆夫
8	R2.1.29	死亡届	1	上地聖子

32

# 八重山平和祈念館 令和元年度 事業実施報告

## (1) 夏休み子ども向け企画

[期間] 令和元年8月3日(土)～9月8日(日)

夏休みの学習の場として、今年も子ども向け企画を実施しました。

今回は、八重山の戦争に関する調べ学習支援の一環として当館で制作したワークシートの配布を行いました。

また、戦中・戦後の遊び道具等を展示し、当時の子どもの遊びを紹介しました。



## (2) 「開館20周年記念企画展第1弾 八重山平和祈念館20年のあゆみ」

[期間] 令和元年11月22日(金)～12月13日(金)

平成11年の開館から20周年を迎えた今年、20周年記念企画展を開催しました。

企画展第1弾は、戦争マリアア犠牲者遺族の活動から祈念館が設立し、現在に至るまでを年表、新聞記事、資料等で振り返りました。

加えて、当館がこれまで実施した企画展や取り組みについてご紹介し、関係者を含めた多くの方々が観覧されました。



## (3) 「開館20周年記念企画展第2弾 第4回 収蔵品展」

[期間] 令和元年12月20日(金)～令和2年1月26日(日)

開館20周年企画展の第2弾として、開館から現在に至るまでに八重山平和祈念館に寄贈された収蔵品を中心に、戦中・戦後の人々の生活の様子をご紹介します。

あわせて、地域の戦争体験者から聞き取りした貴重な体験証言を展示し、戦時中の様子を伝えました。



# 第30回 児童・生徒の平和メッセージ(図画・作文・詩)作品募集要項

## 1. 募集対象

沖縄県内の小・中・高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

## 2. 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名(フリガナ)、題名を必ず応募ラベルに記入する。

## 3. 作品応募規定

<図画部門>

- 市販の画用紙(四つ切り、38cm×54cm)を使用する。
- 図画には文字のメッセージは入れない。
- 運搬や保管など取扱いが困難なもの及び立体作品は不可
- 裏面に図画の説明文(制作意図)を記入する。

<作文部門>

- 小学校1, 2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3, 4年生は3枚程度、小学校5, 6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出(代筆不可)する。
- 特別支援学校及び特別支援学級については、学年を問わず枚数を特に指定しない。

<詩部門>

- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出(代筆不可)する。

<作文・詩部門共通>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー(市販用紙を複製したもの)を使用しない。(小学校1, 2年生は200字詰め原稿用紙も可)
- 特別支援学校及び特別支援学級については、障がいの程度に応じて代筆も可とする。

## 4. 募集期間

令和2年5月7日(木)～5月20日(水)

※〆切 5月20日(月)17:00必着(当館持ち込み可)

## 5. 作品の送り先

〒901-0333 糸満市摩文仁614番地の1

沖縄県平和祈念資料館

(電話:098-997-3844・FAX:098-997-3947)



## 離島・遠隔地講師派遣事業について

平成 29 年度より、沖縄県内の小・中・高等学校で所在地が離島または遠隔地であって、当館での平和講話が受講困難な学校を対象に「離島・遠隔地講師派遣事業」を実施しています。当館の展示室見学において、事前または事後学習として、講師が学校に向き平和講話を行うことができる取り組みを実施しています。今年度は、名護市立羽地小学校、宮古島市立平良第一小学校、沖縄県立久米島高等学校が展示室見学の事前学習でこの事業を活用してくれました。

詳しいことは当館のHPや電話でお問い合わせ下さい。



小学校における平和講話の様子

## 令和元年度 沖縄県平和祈念資料館講習会について

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦についての理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催しています。

今年度は令和2年3月11日（水）に開催を予定していましたが、県内においても新型コロナウイルス感染者が確認され、今後の感染拡大を予防するために、講習会開催を延期しました。新たな講習会の日程については、後日、当館ホームページや公式Twitterによりお知らせいたします。



昨年度の資料館講習会の様子

### 大学連携事業について

当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を随時実施しています。

大学生のみなさん、大学生の視点で平和な社会を構築するために必要なものとともに考えてみませんか。

### 資料のご提供について

戦後75年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいませよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

### 資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、「実物資料」、「平和学習キット」の貸出しを行っています。平和学習の補助教材として、県内外学校からの申込みをお待ちしております。

### 編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947  
E-MAIL [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)

